

## 輸送動向について（平成25年度第1－四半期）

平成25年7月

### 1. 輸送概況

第1－四半期は、4月上旬に低気圧の接近に伴う輸送障害が発生したほか、4月中旬の淡路島地震による運転規制などの影響を受け、高速貨142本、専貨2本が運休した（前年同期間は、高速貨343本、専貨24本が運休）。

荷動きについては、海外景気の低迷を受け輸出を中心に生産の減少があるものの、一部顧客のモーダルシフトの進展により、全体では前年を上回って推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品、家電・情報機器等が前年を下回ったものの、積合せ貨物、紙・パルプ等が前年を上回り、全体では前年比101.5%となった。自動車部品及び家電・情報機器は国内需要の減少により減送となった。一方、積合せ貨物は一部顧客の専用列車の運行開始等により増送となった。また、紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展によりそれぞれ増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石等が前年の工場の定期修理の反動などにより増送となった。また、石油についても4月下旬から5月にかけての気温が低下したことにより増送となり、全体では前年比104.4%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,045	4,969	101.5%
車扱	1,946	1,864	104.4%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	355	344	11	103.3%
	化学工業品	490	490	0	100.0%
	化学薬品	340	353	-13	96.3%
	食料工業品	800	792	8	101.0%
	紙・パルプ	756	728	28	103.9%
	他工業品	392	415	-23	94.3%
	積合せ貨物	569	503	66	113.1%
	自動車部品	217	240	-23	90.7%
	家電・情報機器	108	121	-13	89.4%
	エコ関連物資	114	102	12	111.9%
	その他の	905	882	23	102.6%
コンテナ計	5,045	4,969	76	101.5%	
車扱	石油	1,269	1,259	10	100.7%
	セメント・石灰石	262	248	14	105.4%
	車両	188	190	-2	98.7%
	その他の	228	167	61	136.3%
	車扱計	1,946	1,864	82	104.4%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）